

リーグ戦の秋季大会が閉幕

愛和グループ

学校法人として5校と不動産会社を運営する愛和グループ（福岡市博多区綱場町、阿部大輔社長）は「愛和カップ杯争奪」リーグ戦の秋季大会の閉会式を12月15日、雁の巣レクリエーションセンターで開催した。

福岡ジュニアソフトボールフレンズシップリーグに協賛した同大会は春季、秋季それぞれ3カ月にわたって開催されるリーグ戦。市内19の小学校ソフトボールチームが出場し、清道クラブジュニア（同区那珂）が優勝した。閉幕式で阿部浩二会長は「最近は少し薄めになったかもしれない仲間との絆、努力と成果、そして辛さをスポーツを通して体験することは皆さんの人生において貴重な経験になると思う。明日に向かって進んでほしい」と語った。



優勝した清道クラブジュニアの選手



優勝トロフィーを渡す阿部会長(左)